

平成 29 年度

県内助産師のネットワーク作りとキャリアアップをはかる事業

本事業は、県内の助産師活動の連携や相互の浸透を図る助産師のネットワーク作りと、助産師活動をさらに活性化することを目的として、講義にグループワークや実技を組み込んだ研修会を開催しています。本年度第1回目の研修会を5月28日に開催しました。

〈テーマ〉 医療安全研修

「助産記録

- 助産ケアのプロセスを表す記録とは -」

講師：葛西圭子先生 公益社団法人日本助産師会専務理事

産科医療補償制度原因分析委員会委員

医療事故調査制度再発防止委員会委員

研修会
の様子



〈研修会の様子〉

研修会には32名の参加がありました。内訳は、病院診療所勤務の助産師14名、助産所勤務及び地域活動の助産師16名、教育機関から2名でした。講義では、助産記録の目的や記録と助産師の責任について他、医療事故調査ではどのようなことを調査して遺族や医療者に対応していくのかの紹介や、妊婦健診時の記録・分娩経過中の記録など場面に応じて記載する内容の講義と事例をもとにグループワークが行われました。

〈研修会のアンケートから〉

自由記載欄には、「日々の『助産ケア』をきちんと記録することがケアの継続やコミュニケーション手段、情報提供等へつながっていることを再確認できた」「医療安全についてしっかり考えることができ、自分の職場でも活かしていきたい」「記録内容の指導を行う立場にあるので、今後の指導にも活かしていきたい」「自分に足りてない視点を確認することができ病棟でも、ケースの振り返りを行っていきたい」などの感想があり、満足度の高い研修会となりました。